

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム翔あかなべ

目標達成計画

作成日: 平成 23年 10月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	33	利用者の重度化・終末期における対応に関して、方針はあるものの明文化されていない。	書面化された方針に基づき運営をし、利用者サイドもその方針に同意した上で利用する。	重度化・終末期の方針を書面化し利用者・ご家族に明示する。	3ヶ月
2	35	災害時の対策として水や食料などの物品を整備する必要がある。	非常時の備えを万全にし、安心して生活できる環境を整える。	災害時に必要となる物品の内容と、その管理方法について検討し用意する。	1ヶ月
3	49	利用者が外出する機会が少ない。	多くの利用者が日常的に外出できるようになる。	わずかな距離・時間でも利用者がホームの外へ出られる機会を作る為、現在の業務内容を見直し検討・実践する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

NPO法人 ぎふ住民福祉研究会